

第12回大東市庁舎整備に関する推進本部会議 議事要旨

日時：令和3年4月9日（金）午前10時30分～12時00分

場所：委員会室

出席：野田副市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、
田中理事兼総務部長、品川理事兼議会事務局長
中村危機管理監、東政策推進部長、木村市民生活部長、
青木福祉・子ども部長、北本保健医療部長、今出都市整備部長、
北田産業・文化部長、延田上下水道局長、北田教育総務部長、
伊東学校教育政策部長、辻本選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長
（事務局）
川口行政サービス向上室長、田中行政サービス向上室課長、川崎

【次第】

次第1 前回以降の進捗状況について

次第2 今後の予定について

○次第1 前回以降の進捗状況について

○次第2 今後の予定について

《資料に沿って説明。以下、質疑応答》

（副市長）

候補地については、推進本部で一つに絞るのか並列にするのか決めかねている。また、耐震改修案と建替案を並列で議論すべきかも悩ましい。

今回示されたパターンについては、これしかないというわけではないが、公有地を基本的に使っていくということが事務局の考えである。これらのパターンを見て、大きな課題やメリットを議論しながら、大きな視点での議論をお願いしたい。

（政策推進部長）

前計画否決の一因は、決定までのプロセス。今回は特別委員会、審議会、推進本部と意見を伺いながら丁寧に進めている。

今回示すパターンは前回会議の中で、挙がってきた場所について、技術的に庁舎建設が可能なのかをみてもらった。今回のモデルプランがそのまま決定となるわけではない。バリエーションもある。

どこに建てるのかが一番重要。そこがこの会議でまとまっていくとありがたい。

(危機管理監)

場所を決めないと前に進まない。前回会議で4パターンが決まった。

推進本部でどこまで決定していいかはあるが、ある程度、場所を決めた中で議論する方が良い。この4パターンからどういう方向性で進めていくかを決めて、市長に報告するべき。

個人的には、現所在地建替え案が一番無難と感じる。市民の税金を使わせていただいている以上、コスト面はととても重要な視点である。

(都市整備部長)

前提条件として、現所在地建替えするときに2棟構成で良いのかは議論に入れていただきたい。せっかく建替えするのに分棟になるのは課題と考える。

末広公園や市民会館は代替施設を作る前提でのプランとなっているが、代替機能を含めて集約化を図ることも検討してよいのではないかと。例えば、末広公園であれば、庁舎を階段上の建物にし、屋上公園にする方法もあるのではないかと。

浸水対策があまり考えられていないのではないかと。駐車場は1階で良いのか、市民サービス部署が浸水するのはどうかなど、考えた案にするべき。

(市民生活部長)

候補地は、誰がいつを決めるのか？資料では、5月、6月中となっているが、この推進本部で、ある程度1本に絞るべきではないかと。

今後の予定に、議会への上程日程が記載されていないがどう考えているのか。現所在地か移転か方向性が決まっていないため、今日、この会議で場所を決定することはできない。

市民会館案については、市民会館機能を今後どうするかということを決めなければ、先に進まない。市役所と市民会館を合築するというのであれば、隣地を買わなければ今の敷地面積では建てることは出来ない。

資料の市民会館案に教育委員会の仮庁舎が書かれているが、アクティブ等の公共施設を利用すれば、仮庁舎は必要ないのではないかと。また、市民会館機能をなくすということであれば、その分の維持管理費用をトータルコストからマイナスにするべきである。また、全案についてであるが、1階をピロティーにし、浸水に備えることも大切なのではないかと。答申の中身が反映されていないのではないかと。どの案も精査が必要。

(理事兼議会事務局長)

耐震改修案については、様々な案が、比較的柔軟に提示されているが、市民会館については、規模を縮小するなどの案がない。市民にとってどんな施設が必要なのか。コスト削減も考える必要があるのではないか。

他案についてもバリエーションを提示し、綿密に進める必要がある。

(危機管理監)

この推進本部会議で、同じことを何度も議論している。資料はこれぐらいにしておいてはどうか。デメリットばかり挙げて進まないし、そういう時間はもうない。

この会である程度の方向性を作っていくべきだ。

(都市整備部長)

現在地が分棟であってもいいというのであれば、個人的には、場所は早く決まると感じている。絞りこんでいくための資料を作っていただきたい。

(政策推進部長)

他案について、これ以外のプランを全く検討していないわけではない。末広公園には北側にお墓があるため、日影規制の問題もある。また、現在地についても、1棟構成にすると仮庁舎の問題が出てくる。

(都市整備部長)

それであれば、階段状の建物は日影規制のため難しいという資料を用意していただきたい。

(市民生活部長)

この推進本部会議で、大まかな場所を決めてから、細かい部分について話をしていくことがよい。

(危機管理監)

耐震改修案では、20年後に西別館解体があるとわかっている。ならば、最初から建替えで良いと感じる。

(保健医療部長)

パターンの決定が一番難しい。どうやって決定するのか。議会や審議会で一本の意見をまとめることは難しいのではないか。この推進本部会議が市長に意見具申してはどう

か。

(副市長)

この会で、ある程度はまとめ、提示することは必要だと思う。

(選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長)

資料に5月、6月に基本構想案完成とあるのが、このままでは間に合わない。場所だけでも決めていくべきではないか。

(上下水道局長)

耐震改修で懸念するのは基礎の部分。基礎の耐震化は出来ない。今の基礎がだめなら、液状化すると傾き、使用できなくなってしまうのではないか。その点を確認しておく必要がある。

(理事兼総務部長)

重要な指摘だと思う。確認をとっていただきたい。

構想には、この4つの案の記載でよいと思う。示されている資料については、今日の意見を網羅して精度を上げていく必要がある。また、答申の内容を入れ込んでいく必要があると思う。

資料に、パターン案決定と書かれている。1つに絞るための会議を設定していただきたい。

(福祉・子ども部長)

早期整備が必要である。一番まとまりやすい案に固めていくことが良い。その後に、そこに出てくるマイナスをどう克服していくかが重要となる。

(産業・文化部長)

4つの中から1つのパターンを出すのがよいと思う。現在地案を一つに絞って出すのがよいのではないか。

(教育総務部長)

もう少し比較資料の中で踏み込める資料が必要。

(学校教育政策部長)

時間がないので、早く決める必要がある。

(副市長)

まとめると、早く方向性を決めていくことが重要。4つの提案をさらに絞るべき絞り方も現在地に収束という考え方でよいか。

(危機管理監)

絞り込んでいく資料を新たに作成している時間はない。今後は、より良いものを建てていくための資料を作っていくべき。

(市民生活部長)

市民会館の場所を推すのは、建替えにより、老朽化した市民会館を廃止できるという思いがあった。現在地の増築耐震では、答申にあるような良いものはできない。最後に、再度市民会館を推しておく。

(理事兼議会事務局長)

まず、推進本部会議で、現在地に決めて、市長・副市長に4月中に判断いただく必要がある。その後、建替えか耐震改修かを考えていくのがよいのではないか。

(政策推進部長)

公共施設の統廃合については、会議を立ちあげる予定がある。この会議体とは別に考えていく。

(副市長)

次のアクションをどうするかは、私、教育長、上下水道事業管理者で決めたいと思うが、皆さん一任頂けるか。

(全員)

了承

(副市長)

それでは、本日の会議は以上で終了する。